



令和7年度 身延中 学校だより
発行者：校長 小田切 武

NO.11 令和7年12月23日

2025年(2学期)の振り返りを!

1年で最も昼が短く夜が長い日、冬至は、太陽の力が最も弱まる日で、冬の最も深い時期でありながら、今日からは再び太陽の力が強まり春の訪れを予感させる「再生」の日でもあるそうです。昔から、この日に厄を払い、新しい年を迎える準備をする大切な節目とされてきました。運気が上向くとされることから、かぼちゃを食べたり柚子湯に入ったりして、無病息災や幸運を願う風習があります。昨日、その風習にならった人もいるのではないかと思います。

さて、早いもので、今日で2学期が終わり、明日から冬休みに入ります。そして2025年もあと数日で終わります。私たちはこういった節目、節目を大切に、その時の想いや決意を次につないで生活しています。「月」の区切りや「学期」の区切りもありますが、1年を大きな区切りとして生活する習慣は、昔から根付いてきたものです。皆さんもその慣習にのっとって、1年の振り返りをしてみてください。

身延の「み」: meaning、物事の**意味**や**意義**を考えて行動しましたか？

身延の「の」: Knowledge、それを現実にするための**知識**や**知恵**を働かせましたか？

身延の「ぶ」: Bright、何よりもみなさん自身が**輝いて**いましたか？

皆さんの2学期を振り返ると、「チーム身延中」としての団結力が随所に表れた学期でした。1学期に引き続き、2学期には輝桜祭や合唱発表会などの大きな行事をはじめ、部活動や委員会、各学年での取組、日々の学習や生活まで、皆さんは本当によく頑張ったと思います。この2学期の行事、毎日の学習の過程で沢山のことを感じ、伝え合う中で、一回りも二回りも大きく成長しました。また、生徒会活動や自主学習ノート交換会を通じて、先輩から後輩へと学びが受け継がれ、学校全体が活性化しています。これらの経験は、皆さんの「自ら学ぶ力」「思いやり」「逞しさ」「進んで働く姿勢」を確実に育んでいます。このように、2学期は「学び」「挑戦」「協働」の3つが大きく育まれた学期でした。皆さん一人一人が、自分の役割を果たしながら仲間と共に歩んだことを誇りに思ってください。

さて、明日から冬休みです。冬休みは、これまでの努力を振り返り、次の目標を考える大切な時間です。「1年の計は元旦にあり」という諺がありますが、「1年の始まりにしっかりと目標設定をすることが、その年全体の成果を左右する」ということで、何事も最初が肝心であるということとえです。具体的に何を成し遂げたいのかを考え、計画を立てることが大切です。何が課題であるか、しっかりと振り返りをして、次への目標を設定してください。

最近、インフルエンザが流行しています。何をするにも健康・安全が第一です。寒さが厳しくなる毎日ですが、体調管理に気をつけて、楽しい年末年始を過ごしてもらいたと思います。健康と安全に気をつけながら、心身を整え、3学期に向けて新たな一歩を踏み出してください。特に、受験を控える3年生は、計画的に学習を進め、最後まで自分を信じて取り組んでください。

■生徒会役員選挙

12月5日(金)には、来年度の生徒会会長・副会長を決める立会演説会・投開票がありました。これまで生徒会活動を牽引してくれてきた令和7年度の執行部・3年生の思いを引き継ぎ、来年度の身延中を更に発展できるように頑張りたいと決意してくれた立候補者の演説は大変素晴らしい演説でした。演説会から投開票作業まで、選挙管理委員会の生徒がスムーズに運営してくれ、開票の結果、裏面の生徒が当選及び信任されました。

立会演説会の中で、各候補者への質問が出されました。どの候補者も3つの公約を立てて訴えかけていましたが、その中で1番重要と思う公約とその理由、公約を達成するための具体策について、自主性と協調性のどちらを重んじるかとその理由について質問がされました。各候補者は、限られた時間の中で、精一杯回答している姿に、生徒会活動に対する想いや願いが感じられ、「よりよい身延中学校・身延中生徒会活動」をつくりていきたいという気持ちが伝わってきました。しかし、この思いを実現するためには、生徒会役員・執行部の力だけでは叶いません。それに協力し応える全生徒の力が必要です。3学期以降、新しい生徒会役員を中心に、活力ある生徒会活動が展開されることを期待しています。



■第2回生徒総会

12月15日(月)には、今年度2回目の生徒総会が行われました。旧執行部が行う最後の取組でしたが、たくさんの賛成意見や要望意見が出される活発な総会となりました。今年度の総括と共に、来年度への課題も見つかったと思います。議事の後には新執行部のメンバーが任命され、新旧執行部の引き継ぎも行われました。これまでの伝統を引き継ぎ、未来へと「繋げ」る取組を中心となって牽引してくれた旧執行部のみなさんに感謝しています。

この生徒総会の中で、「身延町観光大使」として、身延町をPRするポスター制作の提案がされました。キャッチコピーをみんなで考え「なんか、いい、そんな町」をポスターに入れることとなりました。図案については冬休み中の課題となる予定です。素晴らしいポスターの原画を期待しています。

会長	依田さん	新生徒会役員(生徒総会で任命)
副会長男子	依田さん	片田さん 若尾さん
副会長女子	芦沢さん	米澤さん 望月さん



■ 地域クラブ(柔道)・向学館【3年生】

11月29日(土)に、町の生涯学習課主催「地域クラブ活動」が本校の柔道場で行われました。部活動の本格的な地域展開に向けて、試行的に実施しました。普段は他の部活動の所属の生徒も柔道を体験してみる機会となりました。2026年1月31日(土)に2回目が行われます。見学だけでも大丈夫ですので、一度様子を見ていただけたらと思います。



また、この日は3年生の向学館もありました。ほぼ毎週3年生の希望者が受験や自分自身の学力向上をめざして、学習に取り組んでいます。教員 OB の講師の先生方にきめ細かく指導していただいています。地域の方々に支えられ、協力いただき、中学生がいきいきと活動できています。

■ 職場ワイド相談【1年生】

11月28日(金)に、「職業ワイド相談」が行われました。1年生は総合的な学習の時間で、仕事の内容や働くことの目的・意義などを知ることが目的です。医師、役場職員、建築業者、保育士の方々に来校いただき、4つのグループに分かれて、それぞれの講師の方々の話を真剣に聴き、質問や感想を言い合っていました。将来を考える大切な時間となりました。



■ 薬物乱用防止教室【2年生】

12月10日(水)2学年の保健体育の時間に、町の保護司の方々をお招きして薬物乱用防止教室が行われました。DVD の視聴や保護司の方々のお話を聞いたり、資料を見たりするなかで、薬物の怖さなどを改めて感じる事ができました。2年生は真剣に話をきき、質問などもしていました。



■ デート DV 予防講座【3年生】

12月18日(木)NPO 法人エンパワーメントアフロッキーと、ぴゅあ峡南から講師を招き、デート DV 予防講座が行われました。デート DV の実態や予防について理解するとともに、そのようにならない人間関係づくりなども考えることができました。また、デート DV が起きたとき、気がついたとき何ができるかも考えることができた貴重な時間となりました。



■ 身延山高校留学生との交流

12月18日(木)身延山高校のドイツの留学生と交流をしました。4時間目の英語の授業では留学生からドイツの食文化について紹介がありました。2Aの生徒たちも日本の食文化を英語で紹介し、交流しました。そして、当日の給食は栄養教諭の一ノ宮先生が工夫してくれたドイツ給食(ライ麦パン・ドイツ風ポテトサラダ・ザワークラウト・グーラッシュ・アップルシュトゥルーデル)でした!ドイツの留学生と一緒においしくいただきました。また、日本食を紹介したワークシートは2年生全員と給食委員が作成し、それを留学生にプレゼントしました!



■ 避難訓練

12月18日(木)朝、避難訓練を行いました。悪天候の中での地震想定訓練です。今回は余震が繰り返しあり、また、ケガや具合が悪くなった生徒への対応や連絡方法についての先生方の訓練も兼ねて行いました。余震が数回続いたり、けが人役の生徒を先生方が保健室へ運んだりする訓練に、緊張感をもって臨めました。今回の訓練を生かし学校の危機管理マニュアルも見直していきます。



第29回山梨県柔道連盟会長杯争奪少年柔道大会兼第23回山梨県少年柔道選手権大会

2年男子重量級の部優勝 片田さん 2年中量級の部3位 小林さん、3年重量級の部3位 日吉さん

■ 峡南地区小中学校教育祭図画工作・美術作品展入選

3年 岩浅さん 長田さん 笠井さん 四條さん 山田さん 山本さん 秋山さん 小林さん 中込さん

2年 岩澤さん 千頭和さん 依田さん 渡邊さん 浅原さん 伊藤さん 遠藤さん 片田さん 佐藤さん 依田さん 若尾さん

1年 青沼さん 植松さん 粕谷さん 佐野さん 手塚さん 山田さん 中野さん 遠藤さん 若林さん

第44回夏休みの友紹介図書感想文コンクール優秀 1年 市川さん

第39回山梨県中学校技術・家庭科生徒作品展技術・家庭科研究

会長賞 2年 小泉さん 優秀 2年 佐藤さん 依田さん 藤田さん 松田さん 磯野さん

ビブリオバトルやまなし2025中学生の部 チャンプ本 3年 望月天さん(全国大会出場)

第49回山梨県アンサンブルコンテスト中学生部門(管楽打楽器八重奏) 銀賞

*個人情報保護の観点から生徒氏名は苗字だけになっていることを申し添えます